



お知らせ

電気柵の効果的な使用について

最近、地域におけるイノシシ等の侵入防止電気柵の中に、柵線の下の雑草との接触による漏電から効果が減少しているケース、また稲刈りが終わり電気柵を撤去したことにより、イノシシが出没し、畦道等を損壊させているケースが見受けられます。

電気柵を効果的に使用するためには、

① できるだけ常時設置・通電する

電気柵は、電気ショックと痛みで、「柵は危険」と学習させることから「心理柵」とも呼ばれています。

したがって、常時通電させることにより、生来非常に臆病な動物であるイノシシが電気柵に慣れることを防ぎ、田畑に近づきにくい環境を維持することが重要です。

(稲刈りが終わっても撤去せず、適切な電圧を維持してください。)

※やむを得ず通電を止める場合には、柵線・支柱は放置せず撤去してください。

② 下草の草刈りを小まめに行い、電圧が適切であることを確認する。

③ 適切な間隔で柵線(20cm 間隔2段以上)を張る。

以上の点についてご留意いただきますよう、よろしくお願ひします。



下草が茂っている電気柵



ダイコン キャベツが全滅した畑

寺谷里づくり協議会と

西神南自治会との稲刈り・

いもほり体験による交流事業



平成 28 年 10 月 16 日(日)、西区櫛谷町寺谷里づくり協議会と西神南自治会(160 名)は農業体験による交流を行いました。交流は今年で 2 年目になります。

農業体験は稲刈り体験といもほり体験でした。

稲刈り体験では、子どもたちは稲の収穫を楽しんで行いました。



そして、いもほり体験では大きないもが掘れ、子どもたちは大喜びでした。

また、寺谷地区に生息するカワバタモロコなどの希少生物の展示と説明が水辺ネットによりおこなわれ、子どもたちは興味津々の様子でした。

このほか、神戸学院大学による米粉の製造過程の説明や、神戸牛牧場による六甲牛のコロッケの試食・販売と、農産物の販売が行われました。

昼食では、寺谷のブランド米である「カワバタモロコ米」の新米を試食し、楽しい一日を過ごしました。





たかわ農業体験ウォーキング



10月23日(日)に、西区押部谷町高和において「たかわ農業体験ウォーキング」が行われました。

当日は薄曇りで少し気温が低かったものの、ウォーキングを行うにはちょうど良い日和となりました。



稲刈り・花摘み・芋掘りの各ポイントで農業体験を行いながら、計4kmのコースをウォーキングしました。稲刈りポイントでは昔ながらの足踏み脱穀機を用いた脱穀も体験しました。花摘みポイントではちょうど満開を迎えたコスモスの摘み取りを行いました。芋掘りポイントでは丸々と太ったサツマイモを掘りました。



また、当日は池の改修工事を控えていたため、水を抜いた池から回収した池の魚を展示しました。中々普段は見る事が出来ない大きなフナを見た子どもたちは歓声を上げていました。



生野収穫祭



生野里づくり協議会と御影山手自治会のサツマイモ掘りによる交流



10月29日(土)、北区道場町生野地区のほ場で、生野里づくり協議会と御影山手自治会がいも掘りを通じた交流を行いました。

生野里づくり協議会と御影山手自治会は、田植え体験やいも掘りといった農業体験による交流を昨年から行っており、今年で2年目になります。



当日は少し肌寒い天気となりましたが、大きなサツマイモがたくさん掘れ、子どもも大人もみんな夢中で掘っていました。

その後、生野で採れた新米や収穫したいもを生野里づくり協議会と御影山手自治会で一緒に調理し、生野ののどかで美しい農村風景を眺めながら自分たちの手で収穫した秋の恵みをたっぷり味わいました。

